

第4学年 社会科学習指導案

1 単元名

「江戸の文化を今に伝える浅草のまち」

2 単元計画

次	時	学習内容	I C T
1	1	浅草について知っていることを紹介し合う。	資料提示 
	2	学習問題を設定し、予想をもとに調べる計画を立てる。	ガイドブック 
2	3・4	浅草の文化財について調べる。	
	5・6	浅草の伝統行事について調べる。	
	7・8・9	新しいことを取り入れ活気を取り戻したまちについて調べる。	
3	10（本時）	学習問題に対するまとめをする。	
	11	デジタルガイドブックを使い浅草のまちについて紹介する。	↓ ↓

3 「小中一貫教育」を通して、具体化する視点

（1）指導内容の「系統性」

「地理的環境と人々の生活」に区分される内容として、第3学年では身近な地域や区の様子を扱った。第4学年では、東京都の地理的環境の概要について理解させるとともに、都内の特色ある地域の様子についても理解させる。第5学年では、我が国の国土の概要や特色を扱うとともに、国土の地形や気候についても扱う。さらに、地形や気候において特色ある地域の人々の生活についても学習する。第6学年では、我が国と経済や文化などの面でつながりの深い国々について学び、中学部の地理的分野における世界の諸地域や世界各地の人々の生活と環境の学習につながるようにする。

中学部での学習につながるように、いずれの内容においても事例地の地形や気候の特色を捉えるだけで終わらず、その特色に合わせて人々が生活していることに気付かせる。

既習事項の確認

(1) 身近な地域や区の様子を理解している。 ①川、土地の高低の様子、隣接する区 ②商店や住宅地、工場、田畠 ③鉄道やバス路線、駅、大きな道路 ④区内の主な公共施設	(2) 都内の地理的環境の概要を理解している。 ①国内における東京都の位置 ②隣接する県との位置関係 ③都全体の地形や主な産業 ④交通網の様子や主な都市の位置
--	---

（2）指導法の「連続性」

位置や空間的な広がりに着目して東京都の地理的環境の概要を捉え、それをもとに都内の特色ある地域の様子やその地域の人々の生活について、相互の関係に着目しながら理解できるようする。

①つまずきと指導の工夫

東京都の地理的環境の概要が理解できていない。

地図帳だけではなく、インターネットの3D地図などの「航空写真」の機能を活用することで、都内の地理的環境の特徴を視覚的にイメージできるようにする。

②きちんと身に付けさせておく内容・学びのつながり

(1) 地域のもつ特色性

各地域には、地場産業や国際交流が盛んな地域、自然環境や伝統的な文化を保護・活用している地域など、その地域独自の特色があり、そこに住む人々はその特色に合わせて生活していることを理解させる。

(2) 社会的事象の見方・考え方に基づいた資料の分析

- ・位置や空間的な広がりに着目することで地理的環境の特色を捉えられるようにする。
- ・事象相互の関係に着目することで特色ある地域に住む人々の生活を捉えられるようにする。

4 本時（11時間扱いの10時間目）

(1) I C T活用

学習場面	課題設定	個の思考	思考の共有	問い合わせ
学習活動	見通しをもつ	自分の考えを形成する	情報を整理・分類・選択する	
タブレット P C				

(2) 展開

学習内容・活動	・指導のポイント ★評価
1 前時を振り返り、本時のめあてを知る。	・浅草のまちは伝統行事や文化財を大切にし、昔からあるものを守り、新しいことを取り入れていったことを確認する。 学んだことをもとに、学習問題についてまとめよう。
2 デジタルガイドブックの中から学習問題の解決につながるキーワードを探し出す。	・キーワードを探し出し、マーキングする。
3 グループで話し合い、キーワードを短冊化する。	
4 学習問題に対する自分の考えをノートに書く。	・「浅草では、～だから多くの人が訪れるといえる。例えば、…。」とキーワードを参考に、具体的に浅草の人々のまちづくりについて書くようする。
5 全体で話し合い、学習問題についてまとめる。	・伝統を守る、生かす取組を多く行ったから、今多くの人が訪れる町であることに気付けるようする。<問い合わせ> ★浅草の人々は、伝統や文化を保護・活用し、工夫や努力をして浅草のまちづくりをしていること理解している。
6 本時の振り返りを書く。	・本時のめあてを振り返り、分かったことやもっと知りたいことを書く。